

授業科目名	キャリア教育論演習
科目番号	CB22122
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	春AB 月3
担当教員	藤田 晃之
授業概要	日本を含め、世界の多くの国におけるキャリア教育(及び類似の教育実践)を支える基礎理論は、ドナルド・E・スーバーをはじめとしたアメリカ合衆国(以下、アメリカ)の研究者らによって構築されたものである。では、当のアメリカの学校では、どのようなキャリア教育が行われているのだろうか。本演習の前半ではアメリカの学校教育について日本語で書かれた文献を、後半ではアメリカの教育関係者向けに書かれた英語の文献を読みながら、アメリカにおけるキャリア教育実践の特質と課題を探る。
備考	原則として、前年度までにキャリア教育論を履修し、単位を取得した学生のみが履修できる。 実務経験教員 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	広い視野と国際性 教育学における総合的思考力 教育的実践力
授業の到達目標(学修成果)	アメリカ合衆国(以下、アメリカ)における教育制度(教育行財政制度・学校教育制度)の基本的な構造と特質が理解できる。 アメリカで今日展開される教育改革の潮流とその特質が理解できる。 今日のアメリカの学校教育、特に中等教育段階の学校におけるキャリア教育実践の特質と課題が理解できる。
授業計画	授業計画等の詳細は授業初回に提示する。 第1回 アメリカの教育制度と20世紀後半における教育改革の特質(日本語文献による) 第2回 今日アメリカで展開する教育改革と「職業教育コモン・コア(CCTC)」(日本語文献による) 第3回 Framework for School Guidance and Counseling Programs: ASCA Model 第4回 Integrating School Counseling Core Curriculum Into Academic Curriculum, part 1 第5回 Integrating School Counseling Core Curriculum Into Academic Curriculum, part 2 第6回 College and Career Readiness 第7回 Integrating Social and Emotional Development and College- and Career-Readiness Standards, part 1 第8回 Integrating Social and Emotional Development and College- and Career-Readiness Standards, part 2 第9回 Career Development for the Disadvantaged Youth 第10回 日米のキャリア教育実践の特質と課題:総合的なディスカッション
履修条件	原則として、前年度までにキャリア教育論を履修し、単位を取得していること
成績評価方法	授業中の発表(50%)、ミニレポート(50%)による
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	

教材・参考文献・配付資料等	授業中に指示する
オフィスアワー等（連絡先含む）	水曜日 午前9時~10時(人間系学系棟 A518) tfujita at human.tsukuba.ac.jp <a href="http://www.human.tsukuba.ac.jp/~tfujita/">http://www.human.tsukuba.ac.jp/~tfujita/</a>
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	本科目が演習であることに鑑み、授業中の積極的な発言・質問、ディスカッションへの意欲的な参画を強く期待します。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	The United States of America, career development, career guidance, career counseling, school counselors